

REPORT

糸魚川にしかない、鉄道資産を活用した新たな魅力あるまちづくり

▶SLくろひめ号をリニューアル 10月14日(水)

これまで、フォッサマグナミュージアムで展示されていたSLくろひめ号が、修繕・塗装を経て、糸魚川駅アルプス口“ジオパル”正面入口に移設しました。10月14日の鉄道の日によりリニューアル記念式典を行い、市長と関係者らが除幕し、その姿を初めて公開！駅近くにある幼稚園の園児も見学し、式典の最後に皆で記念撮影をしました。



きれいに塗装し直されたSLくろひめ号

▶北陸新幹線糸魚川駅・えちごトキめき鉄道開業5周年記念イベントの開催 10月17日(土)



新型コロナウイルス感染症拡大の影響により3月から延期していた5周年記念イベントを、10月17日(土)、糸魚川、能生、青海の3駅で開催しました。駅北広場キターレでは、鳥塚 亮さん(えちごトキめき鉄道(株)代表取締役社長)、川西 康之さん(株イチバンセン一級建築士事務所代表取締役)による「糸魚川にしかないまちと鉄道の魅力」をテーマにしたトークセッションを実施。中心市街地は、鉄道とふれあう様々な催しを楽しむ大勢の人で活気づきました。

Pickup! トワイライトエクスプレス再現車両を“ジオパル”で一般公開しています

トワイライトエクスプレスは、日本海沿いを走行し、2015年に定期運行を終了した豪華寝台特急。駅北大火の復興支援としてJR西日本から譲り受けた客車備品の一部を活用し、「展望A寝台スイート」と「食堂車」を忠実に再現しました。材料として糸魚川産の杉を使用。車窓からは、走行中の映像をご覧ください。

既存の大糸線キハ52、ジオラマとともに、新たに加わったSLくろひめ号、トワイライトエクスプレス再現車両といった鉄道をモチーフとした機能を拡充して、駅周辺のにぎわいやまちなかへの回遊者の増加につなげていきます。



第05歩!

「共場コモンズさんでランチ」

白馬通りにある共場コモンズさんは新型コロナウイルス感染拡大防止のため、長い間休業していましたが、9月から営業を再開。10月からは、ランチ営業も再開されていると知り、お邪魔してきました。



ランチを提供するのは、a.ha.akane (ア.ハ.アカネ) さん。なんと毎週メニューは変更しているそうです。この日はアカネさん特製オリジナルハンバーガー！卵や野菜など、地元の食材を使用したボリューム満点の食べ応えのある一品で大変美味でした。

大火復興集落支援員 岡尾優太

ぼくたち! わたしたち!

子ども消防隊

子ども消防隊員を紹介します!



丸山 昊乃佳さん
(大野小学校4年生)

前から子ども消防隊で活動している小学校のお友だちから話を聞いていて、かっこいいなあと思って入隊しました。訓練を体験してみても楽しかったので、これから一年間頑張っていきたいです。